

令和7年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
＜全体会議（第10回定例会）議事録＞

日時：2025年（令和7年）12月2日（火）19:00～21:10

場所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席者：11名 別添出席者名簿のとおり

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、近藤、劔

1 「藤沢市住宅マスタープラン」改定に伴う市民との意見交換について（報告審議）（住まい暮らし政策課）

住まい暮らし政策課から資料1、2について説明。

（中村委員）単身高齢者の増加とあるが、世帯数が増えている理由は農家の継承者がいないため、面積の広い土地の跡地が相続などで分譲され戸建て住宅が増えているということではないのか。

シェアハウスとなり住民との騒音やゴミ問題でトラブルが発生した経過がある。長崎などの良い取り組みであればよいが、団地の在り方や再生についてもう少し踏み込んだ取り組みをやっていただきたい。

素人が管理組合の役員をやっており修繕などで社会的にも問題になっていることもある。管理組合に対して運営の在り方の研修会をやってほしい。

（住まい暮らし政策課）第三者評価を利用し、客観的に評価してもらう仕組みがあるため、ご活用いただければ。

（前川委員）県営団地の建て替え工事が始まった。近隣には小学校や高齢者が通う医療施設などがあるが大型の工事車両が走行、停車するため安全面が心配である。安全性について県と協議を行っているが、案内表示の看板を設置する対応のみとなっている。工事期間が15年と長期間に及び、建設業者や自治会の関係者が変わることが想定されるため当初の約束が守られるのか不安に思う。

（道上委員）県営団地の建て替え工事については、計画段階で県側から住民に話があったのか。

（時津議長）西部団地に限らず今後も建替えなど起こり得る問題であるので市も現状を見に来ていただきたい。

（住まい暮らし政策課）工事の内容について、市から県へこのようなご意見があったということをお伝えすることはできる。開発事業に関する手続きについての相談はあったが、中身のプランに対する調整はなかった。

（小山委員）地域コミュニティの希薄化は人口減少によるものなのか。藤沢市の人口は増えている。

（住まい暮らし政策課）人口減少によるものだけではないと考えている。共働きなどの要因もあるため「など」を付けるなど検討する。

（吉岡委員）西部団地の管理組合に空き室を喫茶店やコミュニティスペースとして利用できないかを問合せたが、規約を変えなくてはいけないので簡単な話ではないといわれた。藤沢市として取り組む計画はないのか。

（住まい暮らし政策課）公社と団地再生の取り組みについて話をしているので、

今後、地域として活用したいということであれば話をしたいと考えている。なお住戸として作られているため一般住戸を店舗にしていくということには法的な制約もあるためご理解いただきたい。

（荒井委員）カーボンニュートラルへの取り組みについて、地域としてはどのように取り組んでいけばよいか。

（住まい暮らし政策課）建設業界全体の課題感として挙げさせていただいた。一人一人が省エネについて考えることが重要だと考える。

2 全体での進捗確認・審議事項

（1）たよりの発行について(発行日・内容について)（審議）

カラー刷り全戸配布を3月25日号に回覧する場合には2月9日に原稿の締め切りとなる。1月及び2月の定例会で内容を確定させる必要がある。具体的な内容については年内に示し、年明けの定例会で具体的に話ができればと思う。

（2）提言内容について(スケジュール確認)（審議）

地域として市長にどのような内容の提言を行うかをたよりに載せる場合には2月9日が原稿の締め切りとなり、地域回覧のみの場合は3月9日が原稿の締め切りとなる。メールやスプレッドシートで共有するので、部会の中で検討してほしい。過去に市長との意見交換の中で発言したことがある内容でも可能とする。たよりに提言書の項目だけを載せて、提言書は別途作成する。

市民センターが40年経過し老朽化していることも入れていただきたい。

（3）規約改正(議長の任期)案（審議）

湘南大庭地区郷土づくり推進会議運営要領について、運営要領を改正するための規定がないため、今後は事務局の承認があり、委員過半数の承認が得られれば改正可能としたい。副議長については任期の縛りは設けないこととする。議長については連続2期までとするが、再任することは妨げないとする。新旧対照表を作成し次回の定例会で審議事項とする。

（4）全体集会総括（報告）

会場には28名が参加し、ZOOMは10名が参加した。アンケートについてはe-kanagawa4件、手書き1件の回答があった。アンケートとSlidoについて次回の定例会で資料を配布する。

（5）次年度予算進捗について(事務局)（報告）

各部会からの要求内容について事務局から財政課に伝え、事業の必要性などの協議を行った。デジタル媒体が推奨されているため、紙を印刷する経費が削減される予定。また、消耗品費についても査定が行われる。次回の定例会で結果を伝える。

3 各部会からの報告・審議事項

（1）発信部会（審議）〈資料1・2〉

市の委員募集の記事が広報ふじさわ1月25日号に掲載されるため、大庭地区

独自の募集地域回覧についても同日に行いたい。1月8日が地域回覧の締め切りとなるため、次回定例会で内容を確定させる。イラストについては、活性化指針の表紙に差し替え、ヘッダーにまちづくり会議♡VER湘南に変更したい。各部会で募集したい人材については次回の定例会を待たずに早めに考えてほしい。

(2) ゴルフ部会（報告）〈資料3〉

前回からの変更点としては、コンペルームを使うことにした。ゴルフコンペは3月18日（水）9時開始で1月25日号に回覧を行う。

(3) デジタル推進部会（報告）〈資料4・5・6〉

チラシの印刷については12月22日、地域回覧については1月25日号を予定している。

Eブロックの敬老会組織でスマホ教室を開催したところ20名集まった。スマホ教室は今後も需要があると思うため今後も続けていただければと思う。

図書館の予約検索システムが変更になる予定がある。デジタル部会と一緒に進めていきたい。

図書館のシステム操作方法を教えるだけでなく、まちづくり事業として郷土づくりにつながるような方向にしたほうが良いのではないのか。

(4) セカンドライフ部会（報告）〈資料7・8・9〉

セカンドライフ後期講座に15人が申し込まれている。

11/2サークル連絡会に出席した。セカンドライフ部会と連携できないかという話になっている。

(5) かるた部会（報告）

わくわくフェスタでジャンボかるた大会を開催した。屋外での初めての試みとなり、確認するスタッフの人数、備品、読み札の汚れ、減点ポイントを設けたことなど、反省する点も多かったため、次回に向けて振り返りを行いたいと思う。どの小学校区から参加したかを分析し、今後のイベント周知に活かしたい。

大庭小学校でイベントを予定しているため保護者が視察に来ていた。開催が決まれば実施方法などについて相談したいということなので協力していきたい。

(6) 大庭城跡部会（報告）

見張り台の整備を12月20日までにまちづくり協会が行う。わくわくフェスタについては次回は実施時期やPR方法を検討し参加者を増やしたい。

12月12日に中村委員が文書館でギャラリートークを行う。全体集会の資料を1部抜粋して使用する。

市民センターのインスタで大庭城わくわくフェスタの様子を公開している。

4 その他

(1) 登下校見守りサービスについて（報告）〈資料10〉

資料について説明。

(2) 藤沢市イベントプラットフォームについて

12月2日に藤沢市イベントプラットフォームがリリースされた。大庭地区については12月5日から公開する予定となっている。

(3) 民選委員について

12月1日から大庭地区民選委員の1/3が入れ替えになっている。任期は3年間となる。

(4) ハッピーマップについて

湘南T-SITEのクリスマスマーケットにリエゾンが出展し、ハッピーマップを配布する。

(5) 新春のつどいについて

新春のつどいでのかるた部会の展示販売が可能であるかを実行委員会に確認を行っている。12月11日の自治連役員会で状況を確認する。

(6) セカンドライフ報償費について

セカンドライフ部会予算の報償費の残額について、全体集会の保育ボランティアに対する支払いのため3,000円を充てさせていただいた。

(7) イオンについて

イオンがリニューアルオープンするまでの間に月に1から2回程度オープンマーケットを実施する予定があるため、郷土づくり推進会議主催でイベントに出展することを検討する。

以上

【次回】第11回定例会

〔日時〕 令和8年1月6日（火）19:00～21:00

〔会場〕 湘南大庭市民センター 第1談話室